

議長総括：G7ハリファックス・エネルギー大臣会合 (概要)

- 今次会合の中心テーマは、「明日のエネルギーシステムの構築（Building the Energy Systems of Tomorrow: BEST）」。
- 各国代表は、各国の持続可能な経済成長の中心にエネルギーがあり、信頼でき低廉で持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスが国民の幸福にとって重要であることを強調。
- 各国代表は、よりクリーンなエネルギーへの転換に対する国民の信頼を醸成するために、国のエネルギーの将来に国民を関与させることの重要性を認識。
- カナダ及びイタリアは、フランス、ドイツ、日本、英国及び米国による「Equal by 30」キャンペーン（注：2030年までにクリーンエネルギー部門における男女平等を達成することを目指すキャンペーン）への参加を歓迎。
- 各国代表は、デジタル化されたエネルギーインフラシステムにおけるサイバーセキュリティ、電力システム及び系統の近代化を含む主要課題において協力を進めることで合意。
- ほとんどの国は、パリ協定実施に対する強いコミットメント、エネルギー部門の脱炭素化の加速化、持続可能な開発目標（SDGs）の目標7（注：すべての人々の、安価で信頼でき持続可能かつ近代的エネルギーへのアクセス確保）を達成するとのコミットメントを再確認。
- 環境を保護しつつ成長するクリーンエネルギー市場において競争力を維持すること及び経済成長を進めることの必要性が議論の中心。共通の優先事項を議論するため、来年5月にカナダはクリーンエネルギー大臣会合（CEM）、ミッション・イノベーション（MI）大臣会合をホスト。
- 各国代表は、集団エネルギー安全保障を強化する方法を議論し、エネルギーを政治圧力の手段として、あるいはいかなる国または地域の安全に対する脅威として使用すべきでないことを強調。ウクライナにおけるエネルギー部門の改革の実施に対する変わらぬ支持及び欧州への天然ガスの通過における本改革の重要性を表明。

1 オープン・セッションでの議論

- 洋上エネルギー開発に関し、国際エネルギー機関（IEA）が洋上再生可能エネルギー開発に関する報告書の概要を報告し、発言者は、世界的に高まるエネルギー需要を満たす上で洋上資源が果たし得る役割を強調。
- ジェンダー平等に関し、発言者は、エネルギー分野における女性の役割を可能にする上での、民間セクター及び教育システムの重要性を指摘。
- エネルギー部門における転換に関し、パネリストは、新規の石炭火力発電からよりクリーンな電源へと投資の動向がシフトする中で、企業が競争力と近代性を維持できる方法、及びエネルギー関連の労働力の公正な移行を確保しつつ、エネルギー部門の変化により影響を受ける労働者のための機会の創出について議論。

2 クローズド・セッションでの議論：明日のエネルギーシステムの構築

（１）明日の持続可能なエネルギー資源の開発

●G7各国は、持続可能なエネルギー資源を引き続き開発する必要性及びエネルギー効率の重要な役割を認識。

●各国代表は、エネルギーミックス、燃料、供給源、供給者及び供給ルートの多様化の重要性を再確認するとともに、再生可能エネルギー（特に太陽光及び風力）の開発と展開に関する目覚ましい進展を強調。

●原子力の利用及び継続的投資を選択する国々にとっては、原子力がカーボンフリーのベースロード電源としてエネルギー供給の安全保障に貢献することを再確認。これらの国々は、小型モジュール炉等の新世代原子力技術が再生可能エネルギー技術を補完する可能性に留意。各国代表は、最高水準の原子力安全性、核セキュリティ、核不拡散を維持することの重要性を再確認。

●エネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合は高まっているが、化石燃料は、引き続き世界のエネルギー需要を満たす役割を果たす。各国代表は、温室効果ガス排出削減のため、二酸化炭素回収・利用・貯留（CCUS）等の革新的エネルギー技術の役割について議論。無駄な消費につながる非効率な化石燃料補助金を段階的に廃止するとのコミットメントを再確認し、全ての国に対し、2025年を期限に同様の取組を奨励。

（２）明日のエネルギー労働力の準備

●G7各国は、エネルギー転換の成功には、熟練した技術を擁し技術的に進歩した多様な労働力への投資も行われるべきである旨強調。

（３）明日の電力システムの近代化

●各国代表は、強靱なインフラ及び新しいデジタル技術への新たな投資の必要性に同意。また、電力システムの近代化に関する更なる協力を追求することに同意。

●各国代表は、重要インフラにおけるサイバーセキュリティの重要性を強調し、安全性と強靱性を高めるための協力イニシアティブを開始することに同意。

（４）明日のエネルギー市場の実用化

●各国代表は、開放的で柔軟性及び競争力があり、かつ透明な世界のエネルギー市場としての統合の重要性を再確認。エネルギー事業に対する国民の信頼を築くための地域社会の関与と意義ある対話の重要性について指摘。

●各国代表は、エネルギー市場の統合並びによりダイナミックで透明な競争力のあるエネルギー市場及びより予見可能なエネルギー貿易を達成するための方法を追求する意向を表明。仕向地制限の緩和等を含むLNG契約の柔軟性向上の重要性を再確認し、情報交換やベストプラクティスの共有を促進。

（了）

添付
G 7で合意された成果

G 7は、以下の二つの共同イニシアティブを進めることで合意。

1 デジタル化されたエネルギーインフラシステムのためのサイバーセキュリティ

所有者、運営者及び政府関係者の共通のスキルと知識を向上させるためのアプローチの枠組みを策定し、G 7全体の専門家ネットワークの構築を促進する。

<成果>

- ・知識、分析、教訓、推奨されるプラクティスの取りまとめ。
- ・シナリオに基づく演習。
- ・運用エンジニア、サイバーセキュリティチーム及び管理室オペレータ間の協力と調整の強化。
- ・相互支援を可能とする中心的な専門家の確立。

2 電力システム及び系統の近代化に関する調査

よりクリーンで安全な低炭素経済への移行の過程で、電力需要が増加し系統への依存が高まっており、電力システムの安全性と強靭性を確保する必要性が強まっていることを踏まえ、パイロット・プロジェクトの調査に貢献する。

<目標>

- ・情報共有によるG 7の協力と調整の強化。
- ・系統を近代化する際の課題と機会について、G 7の理解促進。
- ・系統の近代化の成功要因を強調する将来の参考文献。

Equal by 30 キャンペーン

2030年までにクリーンエネルギー分野における女性の平等な賃金、平等なリーダーシップ、平等な機会を達成すべく取り組むとの、公共及び民間セクターの組織による公約。カナダ及びイタリアは、フランス、ドイツ、日本、英国及び米国が本キャンペーンへの参加に同意したことを歓迎。

(了)